

無事故を目指して

《2026年》
9/24

秋の交通安全街頭啓発

釧根地区トラック協会白糠支部と町交通安全運動推進協議会、釧路総合振興局が合同で9月24日、白糠ライオンズクラブが10月7日にそれぞれ道の駅しらぬか恋問館で交通安全街頭啓発を行いました。

街頭啓発では参加者が交通安全を呼び掛けるチラシや啓発グッズを配布し、恋問館の来館者に交通安全を呼び掛けました。



来館者に安全運転を呼びかける参加者

山と海の幸が大集合

《2026年》
9/23

しらぬか秋の収穫祭

白糠の秋の味覚を堪能できる「しらぬか秋の収穫祭」が道の駅しらぬか恋問館で開催されました。

新鮮なカボチャやジャガイモを袋に詰める「野菜の詰め合わせ」が人気を集めたほか、館内で行われた大抽選会では、特賞で灯台つぶ3kgや恋問館専用の商品券、オリジナルグッズなどが用意され、多くの来場者でにぎわいを見せていました。



協力して野菜を袋へ詰める親子

素敵な出会いが生まれる

《2026年》
9/26

恋活応援企画 白糠グルメと恋するタベ

恋活応援企画「白糠グルメと恋するタベ」が、レストランはまなすなどで開かれました。男女各8人が参加し、見事6組のカップリングが成立しました。

参加者は白糠産の食材を使った料理やお酒を楽しみながら会話を弾ませ、親睦を深めました。最後のカップリング発表では結果が発表されるたびに歓声と祝福の拍手も起こりました。



食事を楽しみながら親睦を深める参加者

寄付ありがとうございます

《2026年》
9/25

大地みらい信用金庫 寄付感謝状贈呈式

大地みらい信用金庫（伊藤哲也理事長）から同金庫の創立110周年を記念して町に100万円の寄付をいただきました。

役場で行われた贈呈式で伊藤理事長から目録を受け取った棚野町長は「まちづくりのために大切に使用させていただきます」と感謝の意を述べ、伊藤理事長に感謝状を贈呈しました。



伊藤理事長（左）と棚野町長

激戦区の北海道大会

《2026年》
9/18

ホルスタイン ナショナルショウ激励会

乳牛の体形や品質、改良の成果などを競う「北海道ホルスタインナショナルショウ（9月26～27日、安平町）」に町内から6農場の9頭が出場しました。

本番前には町内の出場農家を代表して、伊深洋さんと對木賢雅さんが役場を訪れ、木村政勝副町長から激励金を受け取りました。大会では上位入賞を目指し、道内各地から集まった出場者と競い合いました。



激励金を手に對木さん（左）と伊深さん（中央）と木村副町長

感動と笑いのひととき

《2026年》
9/16

芸術文化鑑賞会

町内の小中学生を対象とした芸術文化鑑賞会が開かれ、16日の小学生鑑賞会では環境問題やSDGsを学ぶ「もったいないミュージカル」が、18日の中学生鑑賞会では伝統芸能の「狂言」が披露されました。

ミュージカルを鑑賞した庶路学園6年生の夏堀いちは「ごみにも愛があることを感じられました」と児童を代表して劇団に感謝を伝えていました。



歌やダンスなど多彩なパフォーマンスを披露した劇団影法師

命の尊さを肌で感じる

《2026年》
9/18

乳児ふれあい体験学習会

白糠高校で「乳児ふれあい体験学習会」が行われ、1年生の生徒25人が赤ちゃんとのふれあいを通じて、妊娠や出産、子育ての苦楽について学びました。

生徒たちは、赤ちゃんの抱っこを体験したほか、妊娠・出産の大変さなどについて、母親に質問する時間も設けられ、命の重みを実感する貴重な学びの場となりました。



赤ちゃんを抱っこする生徒

寄贈ありがとうございます

《2026年》
9/18

釧根地区バス協会 町に車椅子を寄贈

釧根地区バス協会は、9月20日の「バスの日」を記念して、高齢者および障がい者にとって利用しやすい施設環境の整備をするため、町に車椅子3台を寄贈しました。

寄贈された車椅子は、町内の公共施設などで使用され、誰もが安心して施設を利用できる環境づくりに役立てられます。



深谷会長（中央）から目録を受け取る木村副町長